

平成30年3月7日



青函トンネル&瀬戸大橋線開業30周年記念企画 「青函トンネル&瀬戸大橋線開業30周年記念パネル展」の開催

昭和63(1988)年3月13日に開業した青函トンネルの開業までの歩みを写真や当時の新聞記事、映像等で紹介するパネル展を実施します。さらに同年4月10日に開業した瀬戸大橋線も今年30周年を迎えることから、瀬戸大橋線の開業までの歩みも併せて紹介します。

北海道と本州、そして四国が鉄道でつながった記念すべき当時を振り返り、歴史を感じる旅に出かけませんか。

1. 開催期間と場所

- (1)平成30年3月10日(土)～5月7日(月) 新函館北斗駅 2階自由通路
函館駅 1階改札前待合スペース
 - (2)平成30年5月9日(水)～6月3日(日) 木古内駅 北海道新幹線改札内スペース
 - (3)平成30年6月6日(水)～7月8日(日) 奥津軽いまべつ駅 2階連絡通路スペース
- ※以降順次 JR 北海道管内の主要駅で実施予定です。決まり次第、JR 北海道ホームページにて公開いたします。

<https://www.jrhokkaido.co.jp/hokkaido150/index.html>

2. パネル展の内容

- (1)青函トンネルの歴史紹介
 - ・青函連絡船から青函トンネル着工経緯、完成から現在までを、当時の写真や新聞記事、映像で紹介します。
 - ・「海峡」「スーパー白鳥」「北斗星」など過去に運転していた列車も紹介します。
- (2)瀬戸大橋線の紹介
 - ・瀬戸大橋線の開業までの歴史と四国の観光スポットを紹介します。
- (3)展示
 - ・青函トンネルにまつわる品々や実際に使用したレールの一部、青函トンネルを走行した列車のヘッドマークなどを展示します。
 - ※展示品は駅により異なります。
- (4)フォトスポットの設置
 - ・青函トンネルをイメージしたフォトスポットを設置します。青函トンネルの中にいるような記念の写真を撮影することができます。



パネルイメージ

※上記内容は新函館北斗駅、函館駅のもので、開催場所により、内容は異なります。

3. ガイドによるパネル解説

(1)実施日時：平成30年3月10日(土) 10:30頃～、11:10頃～、12:30頃～

※実施時間は変更になる場合がございます。

(2)実施場所：新函館北斗駅 パネルスペース前

(3)内 容：青函トンネルの建設に携わった福島町青函トンネル記念館のボランティアガイド角谷敏雄さまによる解説を行います。

貴重な生の声を聴くことができますので、ぜひお越しください。

※参加費は無料です。



福島町青函トンネル記念館

ボランティアガイド 角谷敏雄さま

4. JR四国管内におけるパネル展

JR四国管内でも、今年30周年を迎える瀬戸大橋線と青函トンネルを振り返る記念パネル展を開催します。

(1)開催期間：平成30年4月1日(日)～5月31日(木)

(2)開催場所：高松駅・坂出駅(上記期間に随時開催)

(参考)JR四国 <http://www.jr-shikoku.co.jp/>

5. その他

・平成30年3月10日(土)には、北海道新幹線各駅及び函館駅の他、JR東日本新青森駅でお出迎え・お見送りイベントも予定しています。

詳細はJR北海道函館支社ホームページ、JR東日本盛岡支社ホームページをご覧ください。

<http://jr.hakodate.jp/>

<http://www.jr-morioka.com/>

・平成30年3月10日(土)より、北海道から四国へ、四国から北海道へ多くのお客様に足を運んでいただくため、JR北海道とJR四国共同で「四国へ行こう&北海道へ行こうキャンペーン」も実施します。

詳細は、本日発表のJR北海道プレスリリース『青函トンネル&瀬戸大橋線開業30周年記念企画「四国へ行こう&北海道へ行こうキャンペーン」の実施』をご覧ください。

・JR北海道管内で実施するパネル展は、北海道が今年命名150年を迎えることから、北海道などが実施する「北海道150年事業」と連携して展開します。

・JR北海道プレスリリース『JR北海道・JR 四国共同企画「青函トンネル&瀬戸大橋線開業30周年記念キャンペーン」を実施します。』(平成30年1月17日(水))も合わせてご参照ください。

<https://www.jrhokkaido.co.jp/press/2018/180117-2.pdf>